

## 保育者という仕事への敬意と感謝



全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 新山 裕之

新年度が始まり、ちょっと大きめの真新しい園服や帽子を身に付けた新入園児と、その傍らに優しく寄り添うお兄さんお姉さんたちの微笑ましい様子が見られていることでしょう。しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響が教育現場を直撃しています。もしかすると、例年通りの春の光景ではないかもしれません。

ここ数年の教育改革は、予測困難な社会の変化にたくましく立ち向かう社会の担い手を育てる必要性から始まっています。今回の国難とも言える状況に対しても、我々大人が、最悪の状況への備えをしながら、明るい未来に向かって前向きに取り組む姿勢を子どもたちに見せていく機会としていきたいと思えます。

歴史ある国公幼の会長として、この二年間、多くの方々との出会い、意見を交わし、子どもたち・保護者・保育者のために、微力ながら務めさせていただいています。その原動力は、子どもと共に遊びや生活を創り出し、その成長を身近で感じられる保育者という仕事への敬意と感謝です。新採の時代、頑なだった子の気持ちに寄り添う関わりを続けたある日、少しだけ開いた心の窓から小さな笑顔が見えたときの



幸福感は、忘れられません。幼児教育の特徴は、目指す山に登る道は多様で、自分や園の独自性に応じて創造性に富んでいることです。ただし、教科書がない分、自らを磨き続けなければ、子どもたちから笑顔の答えは返ってきません。だからこそ、やりがいがあつて魅力的で、日々ドラマがあり、こんなにするべきな仕事はありません。

今年度の年間テーマは、「質の高い幼児教育を追求する」です。初めて「先生」と呼ばれる先生、異動して心機一転を誓っている先生、全ての先生たちと共に、私も学び続けたいと思います。子どもたちと共に、自らも成長させてもらえる保育者という仕事の魅力を、一人でも多くの人に実感してもらいたいと思います。最初から上手にできる人はいません。しかし、誠実に努力をしていれば、応援し支えてくれる人が必ず現れます。コップに新鮮な水を注ぎ続ける者だけが、子どもたちの前に立つことができるのです。謙虚さを忘れず、日々の営みを大切にし、子どもたちと共に楽しい実践を創り出す保育者を目指して、今年度も笑顔でスタートを切りたいと思います。

(東京都港区立青南幼稚園長)